

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2023年7月20日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

2025年日本国際博覧会「未来社会ショーケース事業」への協賛について 大気中から二酸化炭素を取り出し地中に閉じ込める実証事業を行います

地球環境産業技術研究機構は、2025年日本国際博覧会における「未来社会ショーケース事業」の「グリーン万博」に協賛することを決定しました。

大阪・関西万博の会場内にネガティブエミッションプラントを設置し、大気中から二酸化炭素を取り出します。取り出した二酸化炭素は地中に閉じ込め、また、都市ガスの製造などの二酸化炭素有効利用に用います。

カーボンニュートラル、更にそれを超えて過去のストックベースでの二酸化炭素を削減するネガティブエミッションを実現できる環境技術を世界に向けてアピールします。

■ 事業の内容

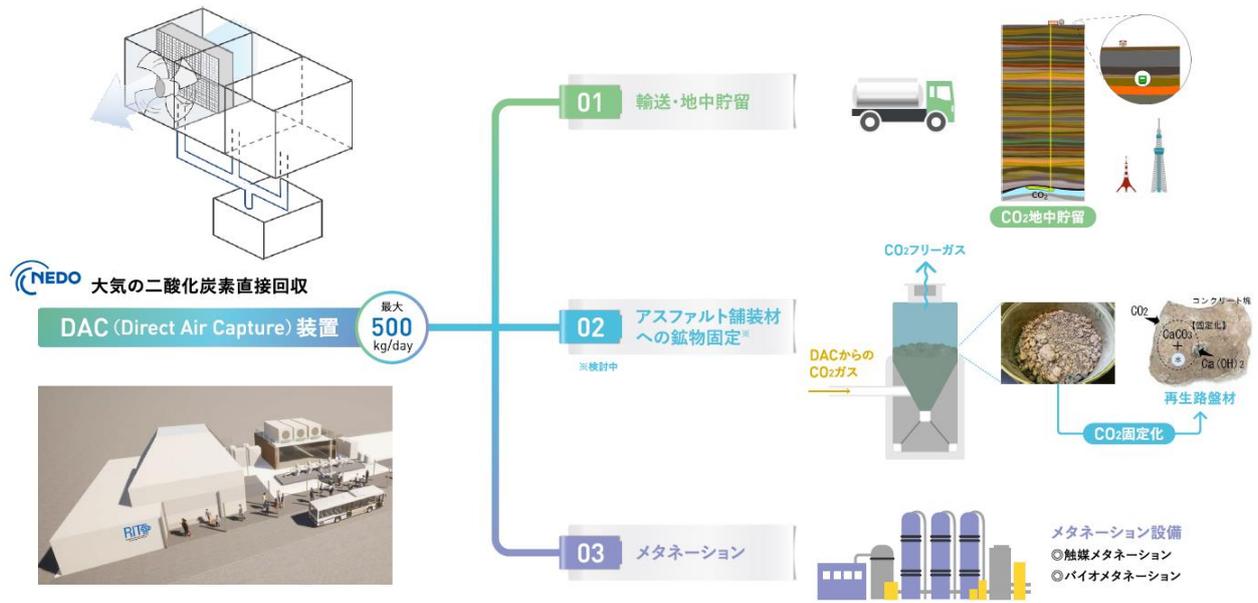
公益財団法人地球環境産業技術研究機構は、地球温暖化の最大原因とされる二酸化炭素を分離回収して地中に貯留するCCS (Carbon dioxide Capture and Storage) 技術や、大気中の二酸化炭素を直接回収するDAC (Direct Air Capture) の研究開発に取り組んでいます(*)。

当機構は大阪・関西万博会場内においてDAC装置を設置して二酸化炭素を回収し、回収した二酸化炭素を地中に貯留する実証事業を計画しています。

大気中から二酸化炭素を直接回収し地中に貯留する技術はDACCS (Direct Air Carbon dioxide Capture and Storage) と呼ばれ、ネガティブエミッションを達成できる技術として地球温暖化防止に大きく貢献することが期待されています。

本実証事業では、日本のネガティブエミッション技術等のあるべき姿を示し、技術の本物が見られる最高の実証プラントエリアを目指します。また、VRなどの映像を使い、世界中からの来場者にDACCS技術を分かり易く説明することも検討しています。

(*) DACの研究開発はムーンショット型研究開発制度にもとづき、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の委託事業として実施しています。



本件に関するお問合せ先：

(公財) 地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 広報・産業連携チーム

TEL : 0774-75-2301